

会計名			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				担当部	福祉健康部
一般会計							担当課	長寿課
款	項	目					担当係	管理係
3	1	3						
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり					
	目的	いきいきクラブ活動等を通じて、高齢者の生きがいと社会参加を促すとともに、心と身体の健康づくりを推進する。		主たる内容	○いきいきクラブ連合会及び単位クラブへの補助金の交付 ○高齢者を対象としたスポーツ大会や世代間交流行事等の実施			
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令						
	対象者	クラブ会員および60歳以上の高齢者		事業期間	昭和56年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	B事業 D実績 O実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
		<ul style="list-style-type: none"> <li>老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（55クラブ）へ補助金の交付</li> <li>ゲートボール大会</li> <li>グラウンド・ゴルフ大会</li> <li>おじいちゃんとおばあちゃんに行く名古屋市科学館</li> <li>簡易健康度評価</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（55クラブ）へ補助金の交付</li> <li>ゲートボール大会（雨天により開催中止）</li> <li>グラウンド・ゴルフ大会</li> <li>おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園</li> <li>簡易健康度評価</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付</li> <li>ゲートボール大会</li> <li>グラウンド・ゴルフ大会</li> <li>おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園</li> <li>簡易健康度評価</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付</li> <li>ゲートボール大会</li> <li>グラウンド・ゴルフ大会</li> <li>おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園</li> <li>簡易健康度評価</li> </ul>
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきクラブ連合会及び各単位クラブへ補助金を交付し、活動を支援することで、自主的に様々な活動を企画運営することができ、会員の生きがいと健康づくりを推進することができた。</li> <li>高齢者を対象としたスポーツ大会の開催や世代間交流を図る行事等により、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することができた。</li> </ul>					
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>単位クラブの会員数は年々減少しており、活動内容の見直しや加入勧奨に工夫をし、会員増を図る必要がある。</li> <li>参加者が少ない行事については、参加を呼びかける努力をするとともに、事業内容について見直す必要がある。</li> </ul>						
O実績 V	指標名称（単位）			実績値		目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	活動指標	いきいきクラブ加入者数（人）		7,632	7,424	7,253	7,300	—
活動指標	いきいきクラブ加入率（%）		21.1	20.3	19.7	19.7	—	
他市との比較検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣市においても、委託ではなく老人クラブ連合会の事業として補助する形で、同じような内容の事業を実施している。</li> </ul>							
C事業 コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		7,964	7,759	7,513	8,028	合計 7,512,844 円	
	財源	特定財源	1,878	1,803	1,891	1,601	委託料 664,117 円	
		一般財源	6,086	5,956	5,622	6,427	負担金、補助及び交付金 6,848,727 円	
	職員人件費②		3,361	3,722	3,703	6,037		
	総事業費（①+②）		11,325	11,481	11,216	14,065		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
30年度までの累積事業費		0		いきいきクラブ連合会補助金 いきいきクラブ補助金				
2年度以降の事業費見込		0						

会計名			高年齢者の生きがいと健康づくり推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	高齢者が自分の住んでいる地域で、仲間づくりや生きがいと健康づくりができるいきいきクラブの役割は重要であり、必要度は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	補助金を交付することにより、連合会及び単位クラブの活動の活性化を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	各単位クラブが主体となって様々な活動を行うことにより、市が主体となってはできないような、地域の実情に合ったきめ細かい対応ができるため、市としては補助金を交付して各クラブの活動を支援する方法が適切である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	いきいきクラブの活動を活性化することにより、総合計画の目標である、高齢者の社会参加・生きがいづくりを達成することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
いきいきクラブの会員数は全国的に減少傾向にあり、特に60歳代の若年高齢者の加入率が低い。これは、定年の延長により引き続き就労する方や、自分なりのライフスタイルを持っている方が多くなっていることが一因である。一方で、更に進行する高齢化社会においては介護予防や地域支援事業の枠組みの中で、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るための主要な方法としていきいきクラブ活動には大きな期待が寄せられているため、いきいきクラブ連合会及び単位クラブにおいて、会員の増加を目指してより魅力的な活動内容を検討する。					

会計名			認知症カフェ運営支援事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり						
	目的	医療、介護、保健分野の専門職が認知症カフェに参加者として関わることにより、利用者が気軽に相談、情報交換等を行うことができる場を創出し、必要に応じて適切な医療機関や介護サービスの利用に繋げる。			主たる内容	茶話会を基本とし、体操、芸能披露、カラオケ、脳を活性化させるためのボードゲーム等、各種レクリエーションを実施することにより、利用者が積極的に参加することができる環境を整備する。			
	位置づけ	関連計画	あいちオレンジタウン構想						
		根拠法令							
		対象者				事業期間	平成31年度～令和3年度		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
						富士松地区にある既存のヴェル・オレンジカフェをモデル事業とし、医師、看護師等専門職のいる認知症カフェを開催した。		ヴェル・オレンジカフェにて医師、看護師等専門職のいる認知症カフェを継続して開催するとともに、市内の他の認知症カフェでも開催できるよう周知する。	
成果		認知症カフェに地域の医師、看護師が参加者として関わることにより、認知症患者本人やその家族に対して、医学的、心理社会的側面から相談、情報交換を行った。カフェの内容としては、茶話会を基本としながらも、看護師による健康講話・健康体操を実施し、参加者の健康に対する意識を高めることができた。							
課題		ヴェル・オレンジカフェでのモデル事業の開催はできたが、今後の専門職のいる認知症カフェのあるべき姿、他の認知症カフェでの開催場所の選定、方法の検討が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標	専門職のいる認知症カフェ開催回数（回）			—	—	3	12	12	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	172	376	合計	171,743円	
	財源	特定財源	0	0	172	376	需用費	59,817円	
		一般財源	0	0	0	0	委託料	111,926円	
	職員人件費②		0	0	231	1,238			
	総事業費（①+②）		0	0	403	1,614			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費			0	あいちオレンジタウン構想モデル事業委託金					
2年度以降の事業費見込			0						

会計名			認知症カフェ運営支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	認知症患者本人とその家族のため、気軽に参加できる認知症カフェの開催、運営を支援した。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	既存の認知症カフェを活用することにより、経費をあまりかけることなく事業を立ち上げた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	刈谷市高齢者福祉計画の重点施策に掲げる認知症施策の推進の取り組みとして事業を行った。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	認知症カフェ開催者、参加者の感想、意見を取り入れながらサービスの効果を検証していく。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	平成30年度はモデル事業として市内1箇所の認知症カフェで「専門職のいる認知症カフェ」を開催したが、平成31年度は継続とともに他の認知症カフェでの開催を検討していく。				

会計名 一般会計			高齡者住宅用消火設備設置費助成事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齡福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者世帯への生活支援						
	目的	消火設備を設置することにより、在宅ねたきり高齡者の安全を確保し、福祉の増進を図る。	主たる内容	○要介護4、5の高齡者がいる高齡者のみ世帯を対象に自動消火設備の設置費用を助成する。 ○自動消火設備設置に対する助成 助成率 市民税非課税世帯 10/10 313,200円以内 市民税課税世帯 9/10 281,880円以内 1人当たり 上限3台					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		刈谷市住宅用消火設備設置費助成事業実施要綱					
		対象者	主たる内容に記載		事業期間	平成28年度 ~ 平成31年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・設置者 2人 ・助成額 370,000円		・設置者 0人 ・助成額 0円		・設置者 1人 ・助成額 226,800円		・設置者 5人 ・助成額 1,334,000円	
成果		対象者に事業を周知し、意向調査を行った。							
課題		申請者が少ないので、事業の周知が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標	住宅用消火設備設置者数（人）		2	0	1	5	-		
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		370	0	227	1,323	合計	226,800円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	226,800円	
		一般財源	370	0	227	1,323			
	職員人件費 ②		1,797	698	1,157	1,084			
	総事業費（①+②）		2,167	698	1,384	2,407			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者住宅用消火設備設置費助成事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齡福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	火災からの逃げ遅れを防ぎ、寝たきり高齡者の安全を確保する事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	福祉の増進が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	安全に関する支援であるため、市が助成していくことは妥当性がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	高齡者の住み慣れた地域での在宅生活のためにも有益である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成28年度から3か年の期限付き事業であったが、平成31年度は延長で予算要求を行った。以降の継続についてサービスの提供方法を含め検討が必要である。					

会計名		行方不明高齢者等SOSネットワーク事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	高齢福祉係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	認知症等により行方不明となった高齢者の早期発見、迅速な安全確保に繋げる。	主たる内容	日常的にはいかひの恐れのある認知症高齢者等が行方不明になった際に備え、あらかじめ本人の情報を関係機関に提供する。 また、発見者がインターネットでの伝言を通じて家族と連絡を取ることができるQRコード付シールを配付するとともに、刈谷市メール配信サービスによる情報提供を行う。					
	関連計画	刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令							
	対象者		事業期間	平成30年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		QRコード付シールの配付及びメール配信サービスによる情報提供を開始した。		QRコード付シールの配付及びメール配信サービスによる情報提供を行う。 (介護保険特別会計に移行)	
成果		事業の周知を行い、希望者に対し、QRコード付きシールの配付、メール配信サービスの促進を行った。							
課題		はいかひの恐れのある高齢者数と比較すると登録者数が少ないことから、ネットワークへの登録の必要性について、引き続き地域包括支援センターや民生委員と連携しながら周知を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		シール累積配付者数（人）			—	—	24	100	120
成果指標		メール配信サービス累積登録者数（人）			—	—	16	100	120
他市との比較検証		安城市で類似のサービスを提供							
C 事業 コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	277	0	合計	277,074円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	277,074円	
		一般財源	0	0	277	0			
	職員人件費②		0	0	309	0			
	総事業費（①+②）		0	0	586	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			行方不明高齢者等SOSネットワーク事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	認知症によるはいかい等により行方不明となった高齢者の早期発見、安全確保が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	QRコード付きシールの読み取り等利用方法の周知が、本人及び家族だけでなく、市民に対しても必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	個人情報等の保護に関わる問題もあるため、行政で行う必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	認知症施策の一環として事業を行っている。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
行方不明高齢者等SOSネットワーク登録者でも、QRコードシール付きシールや、メール配信サービスを希望しない方も多いため、事業の周知、有効性についてもPRしていく必要がある。					



会計名		高齡者交流プラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	管理係	
3	1					7			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	高齡者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり、交流の場を提供し、高齡者福祉の向上を図る。		主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。また、施設の修繕等を行う。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
		根拠法令 刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則							
		対象者	60歳以上の高齡者	事業期間	平成9年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		高齡者交流プラザ延べ利用者数（人）		106,099	130,433	124,826	130,500	—	
活動指標		うち大浴室利用者数（人）		56,820	57,352	54,131	58,000	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		80,456	81,249	81,176	86,597	合計	81,175,669 円	
	財源	特定財源	0	0	1,936	10	需用費	388,880 円	
		一般財源	80,456	81,249	79,240	86,587	役務費	72,101 円	
	職員人件費 ②		234	233	231	542	委託料	75,799,000 円	
	総事業費（①+②）		80,690	81,482	81,407	87,139	使用料及び賃借料	2,923,970 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		施設賠償責任保険金			
2年度以降の事業費見込		0		高齡者福祉施設事業費寄附金					
						備品購入費	322,745 円		
						補償、補填及び賠償金	1,668,973 円		

会計名			高齡者交流プラザ管理運営事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	高齡者人口の増加に伴い、生きがいと健康づくりの拠点となる施設の必要性も高くなり、実際に利用者も多い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		高い	管理運営について、指定管理者である社会福祉協議会に委託することにより、円滑な運営を図ることができるので効率性は高い。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	高齡者の生きがいと健康づくりの拠点となる施設であるため、市が主体となって実施する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	指定管理者により、施設の円滑な運営が図られており、施設の不具合箇所について修繕することで、環境の整備も図られているため、総合計画の目標も達成できている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
連日、多くの高齡者が来館し、大浴場やマッサージコーナー等は多くの人々が常に利用している。また、各種講座も多くの人々が受講しており、市民のニーズも高いため、引き続き事業を実施していく。					

会計名			高齡者緊急一時保護居室確保事業				担当部	福祉健康部
一般会計							担当課	長寿課
款	項	目					担当係	高齡福祉係
3	1	3						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齡者福祉					
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実					
	目的	虐待を受けている高齡者等の緊急一時保護を可能とする体制を整備し、安全を確保する。		主たる内容	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、緊急かつ一時的に保護を要する高齡者を受け入れる。			
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令	高齡者虐待の防止、高齡者の養護者に対する支援に関する法律 老人福祉法					
		対象者			事業期間	平成30年度 ~		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
		_____		_____		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 11件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行う。
成果		虐待等高齡者の緊急一時保護に迅速に対応できた。						
課題		緊急一時保護の居室の場所の確保を今後どのようにしていくか、検証する必要がある。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標	緊急一時保護居室確保数（床）		—	—	2	2	2	
活動指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	4,266	4,229	合計 4,266,375 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料 4,266,375 円	
		一般財源	0	0	4,266	4,229		
	職員人件費 ②		0	0	617	619		
	総事業費（①+②）		0	0	4,883	4,848		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0						

会計名			高年齢者緊急一時保護居室確保事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	虐待等により生命の危険があり、行き場に困る高齢者の保護の必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	実際に利用しない日においても居室確保の費用が発生する。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援に関する法律にのっとり、行政が対応すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	虐待等による高齢者の保護に迅速に対応することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢者の虐待が増えることは望ましくないが、高齢化がさらに進むことが考えられるため、引き続き緊急一時保護のための居室を確保する必要がある。					

会計名 一般会計			高齡者能力活用事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	高齡者の社会参加・生きがづくり							
	目的	定年退職者等に対する就業機会の確保をはじめとした、高齡者能力活用事業の推進を図る。			主たる内容	刈谷市シルバー人材センターに対し補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
			根拠法令	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律						
		対象者	刈谷市シルバー人材センター		事業期間	昭和54年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付		
成果		シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齡者の能力活用及び生きがづくりを図ることができた。								
課題		経済情勢の変化にともない、企業等からの発注が減少傾向にあり、新たな就業先の確保が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標	シルバー人材センター会員数（人）			470	466	480	500	—		
指標										
他市との比較検証	近隣市の会員数（年度末時点） 平成30年度 碧南市 457人、安城市 1,005人、知立市 444人、高浜市 480人 平成29年度 碧南市 429人、安城市 1,001人、知立市 450人、高浜市 419人 会員数としてはほぼ横這いの市が多い。									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		20,512	23,376	22,714	32,459	合計 22,713,864 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 22,713,864 円			
		一般財源	20,512	23,376	22,714	32,459				
	職員人件費 ②		391	310	309	310				
	総事業費（①+②）		20,903	23,686	23,023	32,769				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			老人いこいの場整備運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり							
	目的	地域の高齢者の交流の場である老人いこいの場を設置・運営することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを支援する。			主たる内容	老人いこいの場の運営を各管理者に委託する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市老人いこいの場設置運営要綱						
		対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	昭和48年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・いこいの場開設(34ヶ所)		・いこいの場開設(35ヶ所)		・いこいの場開設(35ヶ所)		・いこいの場開設(34ヶ所)		
成果		老人いこいの場を開設することにより、地域の高齢者の交流の場を提供し、相互の親睦を図るとともに、生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		いこいの場開設日数（日）			6,136	6,102	6,300	6,300	—	
活動指標		いこいの場利用者数（人）			68,254	68,777	65,000	65,000	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		3,409	3,416	3,538	3,498	合計		3,537,876円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費		54,756円	
		一般財源	3,409	3,416	3,538	3,498	委託料		3,360,000円	
	職員人件費②		1,407	1,008	1,003	2,167	備品購入費		123,120円	
	総事業費（①+②）		4,816	4,424	4,541	5,665				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			高年齢者スポーツ等奨励事業				担当部	福祉健康部
款	項	目					担当課	長寿課
3	1	3					担当係	管理係
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり					
	目的	高齢者スポーツ大会の全国大会出場者に激励金を交付し、高齢者スポーツの奨励を図る。	主たる内容	県代表として、全国福祉祭等の高齢者スポーツ大会の全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令						
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	～			
	実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
		長崎大会：5人		秋田大会：7人		富山大会：6人		和歌山大会：14人
		成果	愛知県代表として全国大会に出場する選手に奨励金を交付する事で、大会出場者の士気を高めることができた。					
課題								
指標名称（単位）			実績値			目標値		
成果指標		高齢者スポーツ大会出場者数（人）	5	7	6	14	—	
他市との比較検証								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		50	70	60	140	合計	60,000 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	60,000 円
		一般財源	50	70	60	140		
	職員人件費 ②		625	310	309	1,084		
	総事業費（①+②）		675	380	369	1,224		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0						

会計名			生きがい活動支援通所事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、要介護状態にならないよう通所による介護予防サービスを提供し、自立支援と保健福祉の向上を図る。		主たる内容	おおむね65歳以上で、介護保険の要支援又は要介護認定を受けていない人で、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、高齢者福祉センター及び東刈谷市民センターにおいて生活支援通所サービス（ミニデイサービス）を提供する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市生きがい活動支援通所事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成9年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		実施延日数：155日 利用延人数：1,159人		実施延日数：149日 利用延人数：1,212人		実施延日数：157日 利用延人数：1,267人		高齢者福祉センター：月・水・金曜日開催 東刈谷市民センター：第2・第4火曜日開催	
成果		通所による各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上等を図ることができた。							
課題		高齢者の閉じこもりを予防し解消するためには、社会参加の機会を提供することが重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		生きがい活動支援通所事業実施延日数（日）			155	149	157	168	—
活動指標		生きがい活動支援通所事業利用延人数（人）			1,159	1,212	1,267	1,500	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,254	4,451	4,393	5,118	合計	4,393,012 円	
	財源	特定財源	664	523	531	495	委託料	4,393,012 円	
		一般財源	3,590	3,928	3,862	4,623			
	職員人件費 ②		469	155	540	387			
	総事業費（①+②）		4,723	4,606	4,933	5,505			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金			
2年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計			敬老金等支給事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり							
	目的	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行う。				主たる内容	○各地区等で行われる敬老の日行事に対し補助金を交付する。 ○対象年齢の方に記念品及び敬老金を贈呈する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市補助金交付規則、刈谷市敬老祝金品支給要綱、刈谷市敬老会事業補助金交付要綱						
			対象者	※「B 事業実績」欄に記載			事業期間	～		
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		記念品対象者（満76歳以上） 12,035人		記念品対象者（満77歳以上） 11,397人		記念品対象者（満78歳以上） 10,653人		記念品対象者（満79歳以上） 敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 (10,000円) 満99歳 (30,000円) 満100歳以上 (20,000円)		
敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 856人(10,000円) 満99歳 24人(30,000円) 満100歳以上 53人(20,000円)		敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 959人(10,000円) 満99歳 24人(30,000円) 満100歳以上 52人(20,000円)		敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 944人(10,000円) 満99歳 41人(30,000円) 満100歳以上 41人(20,000円)						
成果		多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		記念品対象者（人）				12,035	11,397	10,653	—	—
活動指標		敬老金対象者（人）				933	1,035	1,026	—	—
他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		25,782	24,599	24,660	26,622	合計	24,659,542 円		
	財源	特定財源	1	1	1	1	報償費	17,675,160 円		
		一般財源	25,781	24,598	24,659	26,621	需用費	287,182 円		
	職員人件費 ②		4,377	4,343	4,321	7,043	役務費	279,000 円		
	総事業費（①+②）		30,159	28,942	28,981	33,665	負担金、補助及び交付金	6,418,200 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		市町村権限移譲交付金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名		地域介護等推進事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	管理係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり						
	目的	家庭介護や認知症についての正しい知識を学ぶ機会を提供し、要介護者や認知症高齢者が安心して暮らすことができる家庭、地域づくりを推進する。		主たる内容	○家庭介護教室の開催（年3回） ○認知症サポーター養成講座の開催 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「認知症サポーター」を養成する。 ○認知症に関するパンフレットを作成 民生委員や地域包括支援センター等を通じて啓発を行う。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	市民		事業期間	平成19年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ5日間） ・認知症サポーター養成講座 25回開催：1,605人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：39人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ5日間） ・認知症サポーター養成講座 21回開催：624人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：55人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ4日間） ・認知症サポーター養成講座 18回開催：959人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：52人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ4日間） ・認知症サポーター養成講座 20回開催：700人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布予定	
成果		・専門家による講演、演習により、家庭介護に必要な基本的な知識、技術を身につける機会を提供できた。 ・地域包括支援センターの協力により、地道な広報活動を続けてきた結果、各種団体や民間企業など、様々な方面から受講希望が集まるようになった。また、平成24年度から小学校及び中学校でのサポーター養成講座の開催を働きかけ、子どものうちから認知症に対する理解を深める機会を設けることができた。							
課題		・認知症高齢者は増加しており、その家族や地域等への周知や予防啓発は重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		認知症サポーター養成講座受講者累計数（人）		7,232	7,856	8,815	9,515	10,515	
活動指標		家庭介護教室参加者数（人）		74	135	115	120	120	
他市との比較検証		・他市においても、愛知県市町村振興協会の同事業を活用して、同様の研修会を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		514	344	415	471	合計	415,302 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	22,000 円	
		一般財源	514	344	415	471	需用費	235,112 円	
	職員人件費 ②		2,032	3,334	2,546	2,554	役務費	2,000 円	
	総事業費（①+②）		2,546	3,678	2,961	3,025	使用料及び賃借料	156,190 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			福祉有償運送運営協議会事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	福祉有償運送の必要性、対価が適切なものであるか等について協議し、福祉有償運送の適切な運営を図る。			主たる内容	タクシー事業者やタクシー運転手、住民や利用者、運送主体、運輸局の職員、地方公共団体の代表により構成される福祉有償運送運営協議会にて、地域の実情を考慮し、いかにして移動制約者の移動手段を確保し、かつ輸送の安全を確保し、適切な福祉有償運送の実施を図るかを様々な立場、視点から協議する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市福祉有償運送運営協議会設置要綱							
		対象者	協議会委員		事業期間	平成17年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・協議会の開催 開催日 11月11日 2月8日		・協議会の開催 開催日 11月13日		・協議会の開催 開催日 11月20日 3月26日		・協議会を1回以上開催予定		
成果		運営協議会での合意に基づき道路運送法第79条の登録をすることにより、NPO等による自家用自動車を使用した有償運送が可能となり移動制約者の移送手段を確保することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		協議会開催数（回）			2	1	2	1	1	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		141	58	128	141	合計	128,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	128,000 円		
		一般財源	141	58	128	141				
	職員人件費 ②		703	388	386	387				
	総事業費（①+②）		844	446	514	528				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			配食サービス事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	見守りが必要で、食事の支度が困難な高齢者に対し、配食サービスを提供することにより、高齢者の食の自立を支援するとともに安否を確認し、もって福祉の増進を図る。				主たる内容	65歳以上の高齢者のみの世帯で、隣接地に扶養義務者が居住せず、配食サービスの提供が必要であると判断された人に対し、週3日以内の夕食を配達し安否確認を行う。（カロリー・塩分制限等の必要の無い人を対象とした一般食） 利用者負担は、1食につき300円。		
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令	刈谷市高齢者配食サービス事業実施要綱						
	対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成8年度～		
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		利用者数：347人 延べ利用食数：29,651食		利用者数：337人 延べ利用食数：29,930食		利用者数：365人 延べ利用食数：30,411食 ・配食サービスの希望曜日及び希望業者の選択制を実施		利用者数：410人 延べ利用食数：32,000食	
成果		見守りの必要な高齢者世帯に対し、配達にあわせて安否確認を行い、利用者の状況等を確認することができた。また、定期的に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援した。							
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加が見込まれ、事業費も年々増加しているため、事業の総合的な見直しを検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		配食サービス利用者数（人） （年度末時点の登録利用者数）			347	337	365	410	410
活動指標		延べ利用食数（食）			29,651	29,930	30,411	32,000	32,000
他市との比較検証		県内全市で同様の事業を実施している。配食サービスの実施回数は週2回から毎日実施、昼食のみや夕食のみと内容は様々である。また、1食あたりの市の補助額も半額程度補助している市や、配達費のみ補助している市がある。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		14,707	14,963	15,222	22,168	合計	15,221,545円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	15,221,545円	
		一般財源	14,707	14,963	15,222	22,168			
	職員人件費②		3,048	2,559	2,083	2,399			
	総事業費（①+②）		17,755	17,522	17,305	24,567			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者タクシー助成事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齡福祉係	
3	1	3							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者世帯への生活支援						
	目的	移動の際に電車・バス等を利用することが困難な高齡者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、高齡者の外出支援及び閉じこもりを予防する。 また、通常の自家用車を利用することが困難な高齡者に対し、特殊車両タクシー料金の一部を助成することにより、医療機関への通院等を支援し、もって福祉の増進を図る。			主たる内容		○高齡者タクシー 在宅の要支援2以上で、市民税非課税世帯の高齡者(65歳以上)に対し、タクシー料金助成利用券(定額)を一月あたり3枚交付する。		
	○介護タクシー 在宅の要介護1以上で、特殊車両の必要な高齡者(65歳以上)に対し、車椅子用昇降機や寝台付き車両のタクシー料金助成利用券(定額)を一月あたり3枚交付する。								
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市高齡者タクシー料金助成事業実施要綱、刈谷市介護タクシー料金助成事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成14年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数：162人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：264人		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数：169人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：275人		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数：172人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：287人		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数：185人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：300人			
成果		タクシー料金助成利用券の交付により、外出が必要であってもその手段がない状況の解消を図ることができた。							
課題		高齡化の進行に伴い交付人数の増加を見込んだが、高齡化率に比例して交付人数は増えていないため、高齡者の問題として移動が困難な事があげられる中、より一層の周知に努め、助成に繋がるようにする必要がある。							
O 実施	指標名称(単位)				実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	活動指標	高齡者タクシー料金助成利用券交付人数(人)			162	169	172	185	196
	活動指標	介護タクシー料金助成利用券交付人数(人)			264	275	287	300	300
他市との比較検証	県内約半数の市で同様の事業を実施している。 1回の乗車につき1枚の利用に制限している市が多い。								
C 事業コスト	単位：千円		28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)	30年度事業費内訳		
	事業費①		11,239	11,326	13,394	14,956	合計	13,394,348円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	382,968円	
		一般財源	11,239	11,326	13,394	14,956	扶助費	13,011,380円	
	職員人件費②		5,080	3,490	3,395	2,399			
	総事業費(①+②)		16,319	14,816	16,789	17,355			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			生活支援ハウス運営委託事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	<p>居室において生活することに不安がある高齢者に対し、一時的な住居を提供し、併せて必要な介護サービスの利用調整をすることにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。</p>	主たる内容	<p>市内に居住する60歳以上の高齢者に対し、住宅改修時、家族の長期入院・長期出張中又は病院・老人保健施設などから退院・退所後自宅での生活に慣れるまでの間などに、6ヶ月以内を原則として住居を提供する。施設には生活援助員が24時間常駐し、生活に関する相談や緊急時の対応に当たる。 利用料（利用者の収入により決定）の他、利用に伴う光熱水費や入所保証金が必要となる。</p>						
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市生活支援ハウス運営事業実施要綱							
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成19年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		利用人数：5人 延べ日数：663日		利用人数：6人 延べ日数：456日		利用人数：6人 延べ日数：469日		事業の性質上、計画・目標値は未設定。		
成果		被虐待者など、避難先として住居が必要となった高齢者に対して住居を提供することで、高齢者の不安の解消及び必要な支援等を実施することができた。								
課題		高齢者を取り巻く環境は日々変化しており、家族の援助を受けることが困難な高齢者は増加しているため、一時的な住居として利用できる生活支援ハウスの周知を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標		生活支援ハウス利用人数（人）		5	6	6	—	—		
指標										
他市との比較検証		県内で一宮市、春日井市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、高浜市、新城市、田原市等が同様な事業を実施。 多くが社会福祉法人に運営を委託しており、定員は7名から20名である。								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		8,780	8,780	8,780	8,780	合計	8,780,000円		
	財源	特定財源	145	37	46	10	委託料	8,780,000円		
		一般財源	8,635	8,743	8,734	8,770				
	職員人件費②		1,719	1,473	1,234	929				
	総事業費（①+②）		10,499	10,253	10,014	9,709				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0		生活支援ハウス利用負担金				
2年度以降の事業費見込		0								



会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			高齢者日常生活支援事業				担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の日常生活を支援し、福祉の増進を図る。			主たる内容	○緊急通報システム：ひとり暮らし高齢者等の自宅に、急病・事故等の緊急時にボタンで連絡がとれる緊急通報システムを整備する。 ○福祉電話：ひとり暮らし高齢者等に、民生委員が定期的な電話による声の訪問を行う。また、電話機のない市民税非課税のひとり暮らし高齢者の自宅に電話機を設置する。 ○日常生活用具給付 ○家具転倒防止器具取付 ○布団乾燥等 ○友愛訪問				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市緊急通報システム設置事業実施要綱、刈谷市福祉電話事業実施要綱 他							
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和60年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績 D実績 O実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・緊急通報：546人 ・声の訪問：40人 ・福祉電話：31人 ・日常生活用具：8人 ・家具転倒防止器具：8世帯 ・布団乾燥等：148人 ・友愛訪問：10人		・緊急通報：552人 ・声の訪問：42人 ・福祉電話：29人 ・日常生活用具：10人 ・家具転倒防止器具：3世帯 ・布団乾燥等：159人 ・友愛訪問：9人		・緊急通報：558人 ・声の訪問：54人 ・福祉電話：24人 ・日常生活用具：6人 ・家具転倒防止器具：8世帯 ・布団乾燥等：144人 ・友愛訪問：6人		・緊急通報：560人 ・声の訪問：50人 ・福祉電話：32人 ・日常生活用具：34人 ・家具転倒防止器具：10世帯 ・布団乾燥等：155人 ・友愛訪問：30人		
成果		ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等が安全に安心して生活できるよう、日常生活の支援となる各種福祉サービスを提供し、福祉の増進を図ることができた。								
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。								
O実績 V	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	活動指標	緊急通報システム利用者数（人）			546	552	558	560	598	
	活動指標	布団乾燥等利用者数（人）			148	159	144	155	160	
	他市との比較検証									
C事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		18,984	18,959	18,519	20,632	合計	18,519,050円		
	財源	特定財源	128	220	114	226	報償費	54,000円		
		一般財源	18,856	18,739	18,405	20,406	委託料	17,575,638円		
	職員人件費②		6,252	4,110	6,327	5,031	使用料及び賃借料	348,850円		
	総事業費（①+②）		25,236	23,069	24,846	25,663	扶助費	540,562円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			シルバーハウジング支援事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣して生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供することにより、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。	主たる内容	老人デイサービスセンターひまわりに生活援助員を配置し、シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、定期的な訪問及び電話による安否確認を行うとともに、緊急通報システムにより連絡を受けた場合、すぐに駆け付けて適切な対応をする。なお、夜間及び休日は緊急通報受報業者により対応する。 生活援助員派遣手数料として月額1,000円（生活保護法による被保護者世帯及び生計中心者市民税所得割非課税世帯は除く。）					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要綱						
		対象者	シルバーハウジングの入居者	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		部屋数：53戸		部屋数：53戸		部屋数：54戸 平成31年1月に1戸増設		部屋数：54戸	
成果		シルバーハウジングに居住する高齢者に対して生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを提供することによって、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができた。							
課題		シルバーハウジングの供給戸数を増やすことが困難である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		シルバーハウジング部屋数（戸）			53	53	54	54	54
指標									
他市との比較検証		県営・市営住宅のシルバーハウジングに入居している世帯のほか、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯に生活援助員を派遣している市もある。 利用者負担は無料から月4,900円まで様々である。							
C 事業コスト		単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①	10,337	11,337	10,765	12,414	合計	10,765,083円		
	財源	特定財源	60	67	72	72	委託料	10,765,083円	
		一般財源	10,277	11,270	10,693	12,342			
	職員人件費②	1,094	1,086	1,543	929				
	総事業費（①+②）	11,431	12,423	12,308	13,343				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		シルバーハウジング生活援助員派遣手数料					
2年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					3	担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に見舞金を支給することにより、その属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	主たる内容	65歳以上で在宅のねたきり又は認知症の人（有効な要支援・要介護認定の主治医意見書等で状態を確認）に対し、月額5,000円の見舞金を支給する。 見舞金は、年2回（9月・3月）に分けて、民生委員を通じて支給する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給要綱						
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和49年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		受給者数 前期：638人 後期：624人		受給者数 前期：636人 後期：659人		受給者数 前期：674人 後期：668人		受給者数 前期：700人 後期：700人	
成果		老人福祉の理念に基づき、ねたきり高齢者等の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることができた。							
課題		高齢化の進行に伴い、対象者の増加が見込まれるため、より一層の周知に努め、給付に繋がるようにする必要がある。また、在宅ねたきり・認知症高齢者にならないための介護予防を併せて推進することも必要である。高齢者の安否確認の機会の確保の観点から現金支給を行っているが、支給方法の在り方について、検討の余地がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者数：前期（人）			638	636	674	700	700
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者数：後期（人）			624	659	668	700	700
他市との比較検証		県内の約半数の市で同様の事業を実施している。ねたきり・認知症の日常生活自立度等で判定する他、要介護度やその状態が3か月以上継続していることなどの要件がある。また、世帯の所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。							
C 事業コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		31,788	32,561	34,306	34,039	合計	34,306,062 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	46,062 円	
		一般財源	31,788	32,561	34,306	34,039	扶助費	34,260,000 円	
	職員人件費②		4,377	4,885	3,241	2,245			
	総事業費（①+②）		36,165	37,446	37,547	36,284			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ助成事業				担当部	福祉健康部				
款	項					目	担当課	長寿課			
3	1					3	担当係	高齢福祉係			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援								
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に対し、おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の増進を図る。	主たる内容	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者で、常時おむつを必要とする人に対し、一月あたり3,000円相当のおむつ費用助成利用券を交付する。 なお、要介護4又は5で、市民税非課税世帯の人は、一月あたり6,000円相当とする。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成事業実施要綱								
	対象者	在宅ねたきり認知症高齢者見舞金受給者	事業期間	平成8年度～							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画			
		利用券交付人数 前期：504人 後期：464人		利用券交付人数 前期：495人 後期：478人		利用券交付人数 前期：514人 後期：478人		利用券交付人数 前期：545人 後期：545人			
成果		おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の向上を図ることができた。									
課題		高齢化の進行に伴い、在宅で介護を受けるねたきり・認知症高齢者の増加が見込まれるため、今後より一層の周知に努め、在宅介護者の負担軽減に繋がるようにする必要がある。 また、重症化を防ぐための介護予防や自立支援の体制整備を併せて推進することも必要である。									
指標名称（単位）			実績値			目標値					
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度				
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券交付人数：前期（人）		504	495	514	545	557			
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券交付人数：後期（人）		464	478	478	545	557			
他市との比較検証		県内のほとんどの市で同様の事業を実施している。 おむつを現物支給する市もあるが、大半は利用券を交付しており、金額は一月あたり2,500円～7,000円と幅がある。また、要介護認定だけでなく、所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		13,647	13,972	14,564	16,659	合計	14,563,562円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000円			
		一般財源	13,647	13,972	14,564	16,659	需用費	341,118円			
	職員人件費②		3,751	4,808	3,781	2,554	扶助費	14,186,444円			
	総事業費（①+②）		17,398	18,780	18,345	19,213					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称					
30年度までの累積事業費		0									
2年度以降の事業費見込		0									

会計名 一般会計			老人ホーム入所者生活補給金支給事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	養護老人ホームに入所している高齢者に生活補給金を支給することにより、老人福祉の理念に基づき、高齢者の福祉の増進を図る。	主たる内容	刈谷市が措置し、前月收入額が7,500円未満の入所者に対し、1人につき、生活補給金として月額最大7,500円を支給する。 養護老人ホーム入所者の病院の受診費用や日常生活品の購入などに充てる。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人ホーム入所者生活補給金支給事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		受給者数：11人		受給者数：11人		受給者数：7人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果		生活補給金を支給し、対象者の病院の受診費用や日常生活品の購入に充てることにより、対象者が安定した生活を送ることができた。							
課題		入居者より増額要求が度々あるが、増額根拠が無いため、補給金の性質を説明して現状を維持している。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標	老人ホーム入所者生活補給金受給者数（人）		11	11	7	—	—		
指標									
他市との比較検証	養護老人ホームを持つ近隣4市は皆補給金を7,500円/月としている。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		908	735	548	1,275	合計	547,500円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	547,500円	
		一般財源	908	735	548	1,275			
	職員人件費②		1,876	2,637	2,700	1,858			
	総事業費（①+②）		2,784	3,372	3,248	3,133			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			在日外国人特別給付事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	年金の受給資格の取れなかった外国人無年金者で一定の要件を満たす方に対し、特別給付金を支給し福祉の向上を図る。	主たる内容	大正15年4月1日以前に出生した外国人で、老齢福祉年金の所得基準を満たす方に対し、一月あたり1万円を支給する。					
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令	刈谷市在日外国人特別給付金支給要綱							
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成6年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
受給者数：0人		受給者数：0人		受給者数：0人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。			
成果		市民だより等で事業の周知を行った。							
課題		大正15年4月1日以前に出生した外国人で、1年以上刈谷市に住んでいる方が対象ということで、制度はあるものの今後受給者が出るか未定。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		在日外国人特別給付金受給者数（人）		0	0	0	—	—	
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設 事業		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	0	120	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	120			
	職員人件費 ②		469	233	231	23			
	総事業費（①+②）		469	233	231	143			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			老人ホーム措置事業				担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	原則として65歳以上の者で、身体上又は精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある者が、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、自立した日常生活を営むために最も適切な支援が総合的に受けられるように、養護老人ホーム等への入所措置、介護保険サービスの便宜を供与する措置等の積極的な実施に努め、もって当該高齢者の福祉の増進を図る。				主たる内容	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム等（やむを得ない措置）被措置者の入所施設等に対し、支弁費を支給する。			
							※やむを得ない措置とは、事業者と契約をして介護サービスを利用することや、その前提となる市町村に対する要介護認定の申請を期待しがたい場合、又は高齢者虐待等により保護及び支援が必要と認められる場合をいう。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、老人福祉法第28条の規定による費用徴収規則							
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：22人 他市：2人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：25人 他市：3人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：26人 他市：4人 (年度末時点)		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。				
成果		居宅での生活が困難であった高齢者を養護老人ホームに入所させることで、高齢者が心身ともに健全な生活を送ることができた。								
課題		定員50名の施設であるが、半数が空き室である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		養護老人ホーム被措置者数（人）			24	28	30	—	—	
指標										
他市との比較検証		養護老人ホームを民間委託した事で、入居率が上がっている市（碧南市、高浜市、半田市他）がある。								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		54,845	63,301	69,191	82,757	合計	69,191,484円		
	財源	特定財源	48,526	55,211	61,675	79,703	報償費	30,000円		
		一般財源	6,319	8,090	7,516	3,054	扶助費	69,161,484円		
	職員人件費②		4,298	3,722	2,623	2,632				
	総事業費（①+②）		59,143	67,023	71,814	85,389				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 老人ホーム扶養義務者負担金 老人ホーム入所者措置収入						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			防災ベッド設置費補助事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	防災ベッドを設置するための費用を補助することにより、高齢者の安全を確保し、福祉の増進を図る。		主たる内容	在宅の65歳以上の人を対象に防災ベッドを設置する費用を補助する。 <補助内容> 補助率 市民税非課税世帯 10/10 300,000円以内 市民税課税世帯 9/10 270,000円以内					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市高齢者防災ベッド設置費補助金交付要綱							
		対象者	在宅の65歳以上の人		事業期間	平成28年度 ~ 平成31年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・設置者 2人 ・補助額 580,800円		・設置者 0人 ・補助額 0円		・設置者 3人 ・補助額 870,000円		・設置者 12人 ・補助額 3,480,000円		
成果		地域の防災イベントで防災ベッドの実物展示、説明を行い、市民への周知を行った。								
課題		申請者が少ないので、事業の周知が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		防災ベッド設置者数（人）			2	0	3	12	-	
指標										
他市との比較検証		近隣市の多くは、30万円上限で耐震シェルターの設置費助成を行なっている。								
C 事業コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		581	0	870	3,210	合計		870,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金		870,000円	
		一般財源	581	0	870	3,210				
	職員人件費 ②		1,407	543	463	387				
	総事業費（①+②）		1,988	543	1,333	3,597				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								



会計名			基幹型地域包括支援センター連携強化事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	地域包括ケアシステム構築のため、基幹型地域包括職員が行政と連携強化することで、地域ニーズに合った生活支援、介護予防施策形成につなげる。	主たる内容	連携強化事業推進のため、基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課での勤務をさせる。						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者				事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		――		――		基幹型地域包括支援センター職員1名を、月10日ほど市役所長寿課に研修勤務させ、連携強化事業を推進した。		基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課に勤務させ、連携強化事業を推進する。		
成果		基幹型地域包括支援センター職員が市役所長寿課に勤務することにより、連携強化につなげることによる一定の成果がみられた。								
課題		基幹型地域包括支援センターのあるべき姿を模索し、地域包括支援センター全体の連携を強化していく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		長寿課勤務職員数			-	-	1	1	-	
活動指標										
他市との比較検証		基幹型地域包括支援センターとの連携強化を図っていく動きが他市にもみられる。								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	2,800	3,021	合計	2,800,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,800,000 円		
		一般財源	0	0	2,800	3,021				
	職員人件費 ②		0	0	617	1,471				
	総事業費（①+②）		0	0	3,417	4,492				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			住宅改善費等補助事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護認定給付係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう、高齢者の自立支援と介護者の負担軽減を図る。			主たる内容	①住宅改善費補助 要支援・要介護認定者が住宅改修を行う際に、改修費が介護保険給付の対象を超えた場合、超えた20万円までの改修費の一部を補助する。 ②介護支援ベッド貸与利用料補助 寝具からの立ち上がりが困難な軽度の認定者（要支援1・2、要介護1）に対し、介護支援ベッドの貸与利用料の一部を補助する。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	位置づけ 根拠法令	刈谷市住宅改善費補助金交付要綱 刈谷市介護支援ベッド貸与利用料補助金交付要綱								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		①補助人数	168人	①補助人数	137人	①補助人数	182人	①補助人数	202人	
補助額		17,967,799円	補助額	14,628,937円	補助額	19,192,889円	補助額	21,342,000円		
②補助人数		222人	②補助人数	219人	②補助人数	208人	②補助人数	295人		
補助額		6,646,698円	補助額	5,981,850円	補助額	5,800,896円	補助額	8,232,000円		
成果		高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる住環境が整えられた。								
課題		高齢化率の上昇に伴う予算の増加。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		住宅改善費補助人数（人）				168	137	182	202	—
活動指標	介護支援ベッド貸与利用料補助人数（人）				222	219	208	295	—	
他市との比較検証	住宅改善費補助は、西三河9市すべてで実施しており、補助上限額や補助対象者の抽出方法については、市町村独自の算定により事業を展開している。									
C 事業 コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		25,135	21,065	25,404	30,354	合計 25,403,579 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 25,403,579 円			
		一般財源	25,135	21,065	25,404	30,354				
	職員人件費 ②		2,188	2,016	2,006	2,012				
	総事業費（①+②）		27,323	23,081	27,410	32,366				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								



会計名 一般会計			介護保険会計繰出事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護保険企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護保険事業の円滑な運営を図る。				主たる内容	介護保険事業に係る介護給付費、地域支援事業費、総務費の市負担分を介護保険会計に繰り出す。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	介護保険法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成12年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		介護給付費分：864,949,000円		介護給付費分：908,064,000円		介護給付費分：939,125,000円		介護給付費分：999,531,000円		
地域支援事業費分：36,116,000円		地域支援事業費分：88,453,000円		地域支援事業費分：80,830,000円		地域支援事業費分：130,327,000円				
低所得者保険料軽減分：9,280,000円		低所得者保険料軽減分：9,481,000円		低所得者保険料軽減分：9,753,000円		低所得者保険料軽減分：9,899,000円				
総務費分：215,220,000円		総務費分：240,127,000円		総務費分：233,533,000円		総務費分：241,196,000円				
計 1,125,565,000円		計 1,246,125,000円		計 1,263,241,000円		計 1,380,953,000円				
成果		介護保険法に規定されている介護給付費等の市負担分を一般会計から介護保険会計に繰り出すことで、介護保険会計の健全な運営を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標	繰出額（千円）			1,125,565	1,246,125	1,263,241	1,380,953	—		
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		1,125,565	1,246,125	1,263,241	1,380,953	合計 1,263,241,000円			
	財源	特定財源	9,238	10,206	7,095	7,423	繰出金 1,263,241,000円			
		一般財源	1,116,327	1,235,919	1,256,146	1,373,530				
	職員人件費②		78	78	77	77				
	総事業費（①+②）		1,125,643	1,246,203	1,263,318	1,381,030				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0		低所得者保険料軽減負担金（国庫、県費）				
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			介護サービス利用者負担等軽減事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護認定給付係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得の高齢者であっても必要な介護サービスが利用できるように支援する。		主たる内容	○介護保険居宅サービス等利用者負担額助成 市民税非課税世帯の前年収入や預貯金額等が一定以下などの要件を満たす人に対し、居宅サービス等の介護サービス費の利用者負担額の2分の1を助成する。 ○社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助 対象サービスの介護サービス費、食費、居住費等を軽減した社会福祉法人等に対し、軽減額から本来受領すべき利用者負担額の1%を控除した額の2分の1を補助する。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業実施要綱 他							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～			
	実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		①助成人数 12人 助成額 407,762円		①助成人数 6人 助成額 237,185円		①助成人数 8人 助成額 291,819円		①助成人数 10人 助成額 646,000円	
②補助法人数 2法人 補助額 1,406,000円		②補助法人数 3法人 補助額 1,234,000円		②補助法人数 3法人 補助額 921,000円		②補助法人数 3法人 補助額 2,054,000円			
成果		生活の維持が困難な低所得の高齢者であっても、必要な介護保険サービスを利用することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成人数（人）			12	6	8	10	—
活動指標		②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助額（円）			1,406,000	1,234,000	921,000	2,054,000	—
他市との比較検証		①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成は、対象条件や助成割合が異なるが、県内では18保険者が実施している。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助は、概ね全国の保険者が実施している。							
C 事業 コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,814	1,471	1,213	2,725	合計 1,212,819 円		
	財源	特定財源	1,054	925	690	1,557	負担金、補助及び 交付金 921,000 円		
		一般財源	760	546	523	1,168	扶助費 291,819 円		
	職員人件費 ②		1,563	233	231	232			
	総事業費（①+②）		3,377	1,704	1,444	2,957			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		福祉法人等サービス利用軽減 事業費補助金（県）					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ケアプラン指導研修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護認定給付係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護支援専門員（ケアマネジャー）のスキルアップを図り、高齢者が適切なケアプランのもとで介護保険サービスを利用できるようにする。			主たる内容	介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントリーダー等によるケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための研修を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	介護保険法						
		対象者	市内介護支援専門員			事業期間	平成18年度～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		
成果		介護支援専門員のケアプラン作成技術の向上が図られたことで、適切なケアプランに基づく高齢者のサービス利用に繋がった。								
課題		より多くの介護支援専門員に参加してもらうため、対象者のニーズと課題を把握し、参加意欲を高める研修プログラムの作成や周知方法の工夫が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		開催数（回）			2	2	2	2	—	
成果指標		延参加人数（人）			104	77	88	95	—	
他市との比較検証		刈谷市独自の事業である。								
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		12	25	12	28	合計	12,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	12,000 円		
		一般財源	12	25	12	28				
	職員人件費 ②		469	388	386	77				
	総事業費（①+②）		481	413	398	105				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			高齡者施設消防設備整備費補助事業				担当部	福祉健康部			
款	項	目					担当課	長寿課			
3	1	3					担当係	介護保険企画係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齡者福祉								
		施策の内容	介護サービスの充実								
	目的	既存の高齡者施設等がスプリンクラーを整備するための支援を行うことにより、施設の防火対策を向上させ、自力避難が困難な施設利用者の安全性を確保する。			主たる内容	スプリンクラー設備等が未設置となっている高齡者施設等において、スプリンクラーを整備した場合、補助金を交付する。					
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備推進交付金交付要綱								
		対象者	事業者		事業期間	平成29年度～平成30年度					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画			
		_____		補助件数 1件 補助額 4,820千円		補助件数 0件 補助額 0千円		_____			
成果											
課題		補正予算を計上したが、事業所の都合により整備に至らなかった。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標		補助金活用による整備件数			0	1	0	0	0		
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	4,820	0	0	合計 0円				
	財源	特定財源	0	4,820	0	0					
		一般財源	0	0	0	0					
	職員人件費 ②		0	0	0	0					
	総事業費（①+②）		0	4,820	0	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称					
30年度までの累積事業費		0									
2年度以降の事業費見込		0									

会計名			生きがいセンター管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりの場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。			主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市シルバー人材センターに委託する。また、施設の修繕等を行う。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則						
	対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	昭和62年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者市民講座の開催</li> <li>講座室、多目的室等の利用</li> <li>施設の修繕等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者市民講座の開催</li> <li>講座室、多目的室等の利用</li> <li>施設の修繕等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者市民講座の開催</li> <li>講座室、多目的室等の利用</li> <li>施設の修繕等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者市民講座の開催</li> <li>講座室、多目的室等の利用</li> <li>施設の修繕等</li> </ul>	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		高齢者市民講座参加者延人数（人）		4,696	4,451	4,306	4,800	—	
活動指標		生きがいセンター延べ利用者数（人）		20,504	21,071	18,581	21,000	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		18,076	17,894	18,502	20,747	合計	18,502,460円	
	財源	特定財源	0	0	0	10	役務費	12,604円	
		一般財源	18,076	17,894	18,502	20,737	委託料	16,509,856円	
	職員人件費②		234	233	231	542	使用料及び賃借料	1,980,000円	
	総事業費（①+②）		18,310	18,127	18,733	21,289			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			養護老人ホーム管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	6							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	老人福祉法に基づく、主に経済的な理由で居宅において生活することが困難な65歳以上の高齢者を入所させ、養護するための施設で、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導や訓練を行うことを目的とする。		主たる内容	○施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。 ○施設管理上必要な物品を設置または更新する。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、刈谷市ふれあいの里条例							
	対象者	※目的に記載		事業期間	～				
	実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		・養護老人ホーム管理運営委託 ・物品の設置及び更新	
成果		入所者の生活援助や社会参加の促進及び生活環境の整備を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		刈谷市養護老人ホーム入所者数（人）			24	26	28	—	—
指標									
他市との比較検証		老人福祉法に基づいた行政の措置施設であるため、他市でも同様の事業を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		80,766	81,618	80,684	87,235	合計	80,684,294 円	
	財源	特定財源	4,762	5,725	5,009	6,759	需用費	143,714 円	
		一般財源	76,004	75,893	75,675	80,476	委託料	80,051,000 円	
	職員人件費 ②		234	155	231	542	備品購入費	489,580 円	
	総事業費（①+②）		81,000	81,773	80,915	87,777			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 在宅老人短期保護手数料 老人ホーム入所者措置収入			
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			いきいきプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり、交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。			主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。また、施設の修繕等を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市老人福祉計画						
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則						
		対象者	60歳以上の高齢者	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
活動指標		いきいきプラザ入館者数（人）		57,356	50,593	40,207	57,500	—	
活動指標		トレーニング室利用者数（人）		25,222	22,784	17,777	25,500	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		31,659	34,821	31,936	32,242	合計	31,935,986円	
	財源	特定財源	0	0	0	10	役員費	20,946円	
		一般財源	31,659	34,821	31,936	32,232	委託料	30,416,000円	
	職員人件費②		234	233	231	542	備品購入費	1,499,040円	
	総事業費（①+②）		31,893	35,054	32,167	32,784			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							



会計名			ぬくもりプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり、交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。			主たる内容	施設の管理運営及び各種講座の開催				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、ぬくもりプラザ処務規則							
	対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	平成13年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
活動指標	ぬくもりプラザ延べ利用者数（人）		53,108	54,853	49,522	55,000	—			
活動指標	うち浴室利用者数（人）		25,837	25,718	23,427	26,000	—			
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。									
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		4,839	5,486	14,368	16,965	合計	14,368,076 円		
	財源	特定財源	486	391	506	391	報償費	336,000 円		
		一般財源	4,353	5,095	13,862	16,574	需用費	3,008,845 円		
	職員人件費 ②		234	233	231	542	役務費	25,000 円		
	総事業費（①+②）		5,073	5,719	14,599	17,507	委託料	10,319,219 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
2年度以降の事業費見込		0								
使用料及び賃借料				679,012 円						



会計名 一般会計		老人デイサービスセンターひまわり管理運				担当部	福祉健康部		
款	項	目	営事業			担当課	長寿課		
3	1	7				担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	利用者に安全で快適な環境を提供し、利便性の向上及び高齢者福祉の増進を図る。			主たる内容	施設管理上必要な物品の設置または更新			
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則							
	対象者	介護保険法の規定に準じる			事業期間	平成9年度 ~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		_____		・歩行器の設置 ・エプロン等の更新		_____	
成果		施設の不具合箇所を修繕することにより、安全で快適な環境を提供し、もって利用者の利便性向上及び高齢者福祉の増進を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標	老人デイサービスセンターひまわり実施日数（日）			293	293	292	294	—	
活動指標	老人デイサービスセンターひまわり利用者数（人）			6,468	6,735	6,544	6,800	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	218	250	合計	217,946 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	157,946 円	
		一般財源	0	0	218	250	備品購入費	60,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	218	250			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			高齡者交流プラザ改修事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	7					担当係	管理係	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容		施設の不具合箇所の修繕及び改修工事		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
		対象者	60歳以上の高齡者			事業期間	平成28年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		【修繕】 浴場ろ過装置ろ材取替修繕 他 【工事】 吸収式冷温水発生器更新工事 他		【修繕】 養護老人ホームベランダ硝子飛散防止フィルム張替え 他 【工事】 防犯カメラ増設工事 他		【修繕】 東西吹抜け硝子フィルム張替え 他 【工事】 喫煙室改修工事		【修繕】 水質コントローラー修繕 冷温水一次ポンプ修繕 天井扇取替修繕 排水ポンプ取替修繕 【工事】 東側駐車場改修工事 事務室エアコン設置工事	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
成果指標	修繕等箇所数（か所）		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	修繕等進捗率（%）		10	8	9	2	—		
他市との比較検証									
C コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		36,581	106,702	33,621	7,000	合計	33,620,916 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	33,221,316 円	
		一般財源	36,581	106,702	33,621	7,000	工事請負費	399,600 円	
	職員人件費②		391	310	309	310			
	総事業費（①+②）		36,972	107,012	33,930	7,310			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			いきいきプラザ改修事業				担当部	福祉健康部
一般会計							担当課	長寿課
款	項	目					担当係	管理係
3	1	7						
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実					
	目的	施設の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。		主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画					
			根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則				
		対象者	施設利用者	事業期間	平成28年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO実績 実施V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
		<ul style="list-style-type: none"> <li>自動扉開閉装置取替修繕</li> <li>自動扉ガラス取替修繕</li> <li>避難口誘導灯更新修繕</li> <li>煙感知器更新修繕</li> <li>網戸張替修繕</li> <li>一般自動給水装置取替修繕</li> <li>プール自動給水装置取替修繕</li> <li>EHP-1系統室外機修繕</li> </ul>		—		<ul style="list-style-type: none"> <li>天窓改修工事</li> <li>照明器具取替工事</li> <li>温水ヒーター更新工事</li> <li>外壁改修工事</li> <li>空調設備改修工事</li> </ul>		—
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。						
課題								
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		修繕等箇所数（か所）		8	—	5	—	—
成果指標		修繕等進捗率（％）		100	—	100	—	—
他市との比較検証								
C事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳
	事業費①		3,477	0	78,310	0	合計 78,309,812 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費 78,309,812 円	
		一般財源	3,477	0	78,310	0		
	職員人件費②		391	0	309	0		
	総事業費（①+②）		3,868	0	78,619	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターたんぽぽ補修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目				担当課	長寿課		
3	1	7				担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、刈谷市南部福祉センター条例施行規則						
	対象者	介護保険法の規定に準じる			事業期間	平成28年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		【修繕】 浴場ろ過装置水質コントローラー取替修繕 他 【工事】 非常用照明等取替工事		【修繕】 一般浴ろ過装置設備等修繕 他 【工事】 空調機設置工事 他		・脱衣室フローリング張替修繕 ・厨房用温水メーター取替		_____	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
成果指標	修繕等箇所数（か所）		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	修繕等進捗率（％）		4	6	2	—	—		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,927	2,831	199	0	合計	198,720 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	198,720 円	
		一般財源	1,927	2,831	199	0			
	職員人件費 ②		391	310	309	310			
	総事業費（①+②）		2,318	3,141	508	310			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			生きがいセンター補修事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。		主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則							
	対象者		事業期間	平成28年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・正面玄関内側自動扉修繕 ・集会室音響設備修繕		倉庫間仕切カーテン設置工事		チャイム取り換え修繕 他		_____	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	修繕等箇所数（か所）		2	1	3	—	—		
成果指標	修繕等進捗率（％）		100	100	100	—	—		
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,069	1,202	481	0	合計	480,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	480,600 円	
		一般財源	1,069	1,202	481	0			
	職員人件費 ②		391	310	309	0			
	総事業費（①+②）		1,460	1,512	790	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターなのはな改修事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					7	担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設・設備の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。	主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	老人デイサービスセンターなのはな条例、老人デイサービスセンターなのはな条例施行規則						
		対象者	介護保険法の規定に準じる	事業期間	平成28年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・キャビネット鍵ユニット交換 ・機械室内ろ過ユニット部品他取替修繕		・食洗機取替修繕 ・トイレ取替修繕 ・脱衣室床修繕		・空調設備改修工事 ・ろ過装置修繕		・空調設備改修工事	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
成果指標		修繕等箇所数（か所）	2	3	2	1	—		
成果指標	修繕等進捗率（%）	100	100	100	100	—			
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		1,326	3,000	12,884	8,000	合計	12,883,552円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	72,360円	
		一般財源	1,326	3,000	12,884	8,000	工事請負費	12,811,192円	
	職員人件費②		469	465	386	387			
	総事業費（①+②）		1,795	3,465	13,270	8,387			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			養護老人ホーム補修事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	6					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令								
	対象者	施設利用者			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>居室トイレ床張替修繕</li> <li>居室用照明器具取替修繕</li> <li>居室用畳取替修繕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>厨房内空調機更新</li> <li>トイレ改修</li> <li>汚物処理室改修</li> <li>ロールカーテン設置</li> </ul>			
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標	修繕等箇所数（か所）			—	3	4	—	—	
活動指標	修繕等進捗率（％）			—	100	100	—	—	
他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	642	4,965	0	合計	4,965,227 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,589,147 円	
		一般財源	0	642	4,965	0	工事請負費	3,376,080 円	
	職員人件費 ②		0	78	77	0			
	総事業費（①+②）		0	720	5,042	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計			老人デイサービスセンターたんぽぽ管理運営事業			担当部	福祉健康部
款	項	目				担当課	長寿課
3	1	7				担当係	管理係

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全				
		基本施策	高齢者福祉				
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実				
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じ自立した在宅生活を営む ことができるよう支援する。	主たる内容	入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練、介 護方法の指導その他の厚生労働省令で定める 便宜を供与する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画				
		根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、刈谷市南部福祉センター条例施行規則				
		対象者	介護保険法の規定に準じる	事業期間	～		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

B 事業 実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理器具の更新</li> <li>給食用トレーの更新</li> <li>包丁まな板殺菌庫の整備</li> <li>ガステーブルの更新</li> </ul>	—
	成果	施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。		

D 実績	課題	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。				
	指標名称（単位）	実績値			目標値	
		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度

O 実績	活動指標	老人デイサービスセンターたんぽぽ実施日数（日）	293	293	292	289	—
	活動指標	老人デイサービスセンターたんぽぽ利用者数（人）	5,581	4,642	4,300	2,860	—
	他市との比較検証						

C 事業 コスト	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①	0	0	6,793	27,716	合計	6,792,749 円	
	財源	特定財源	0	0	6,296	3,034	需用費	2,327,075 円
		一般財源	0	0	497	24,682	委託料	3,809,833 円
		職員人件費 ②	0	0	0	0	使用料及び賃借料	159,041 円
		総事業費（①+②）	0	0	6,793	27,716	備品購入費	496,800 円
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		施設管理負担金				
2年度以降の事業費見込		0						

会計名			ぬくもりプラザ補修事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、ぬくもりプラザ処務規則							
	対象者	施設利用者	事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		・浴場ろ過装置塩素注入ポンプ取替修繕 ・水質コントローラー（センサー）修繕 ・給湯用真空ヒーター修繕 ・水質コントローラー（基板）修繕		・空調機取替工事	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		修繕等箇所数（か所）			—	—	4	1	—
活動指標		修繕等進捗率（％）			—	—	100	100	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,110	0	合計	1,110,024 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	936,360 円	
		一般財源	0	0	1,110	0	工事請負費	173,664 円	
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	1,110	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターなのはな管理運				担当部	福祉健康部	
款 項 目		営事業				担当課	長寿課	
3	1	7					担当係	管理係
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実					
	目的	老朽化した備品を更新することにより、利用者の利便性の向上を図る。			主たる内容	施設管理上必要な物品の設置または更新		
	位置づけ							
	関連計画							
	根拠法令	老人デイサービスセンターなのはな条例、老人デイサービスセンターなのはな条例施行規則						
	対象者	介護保険法の規定に準じる			事業期間	～		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画
_____		_____		・入浴用リフト ・食器消毒保管庫		_____		
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。						
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。						
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
活動指標	老人デイサービスセンターなのはな実施日数（日）			—	—	307	—	—
活動指標	老人デイサービスセンターなのはな利用者数（人）			—	—	7,110	—	—
他市との比較検証								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	5,412	0	合計	5,411,707 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	備品購入費	5,411,707 円
		一般財源	0	0	5,412	0		
	職員人件費 ②		0	0	0	0		
	総事業費（①+②）		0	0	5,412	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		
30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターひまわり改修事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					7	担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	施設の不具合箇所の修繕及び改修工事		
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			実施方法 ■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令							
		対象者	施設利用者			事業期間	～		
		実施方法							
			28年度実績			29年度実績		30年度実績	
								・多目的トイレ増設工事	
B 事業実績 D 実績 O 実績 V	成果	施設・設備を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
	課題	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
	活動指標	改修等箇所数（か所）		—	—	1	—	—	
活動指標	改修等進捗率（％）		—	—	100	—	—		
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	13,753	0	合計	13,752,720 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	13,752,720 円	
		一般財源	0	0	13,753	0			
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	13,753	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者交流プラザ駐車場整備事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	高齡者交流プラザの周辺地域において駐車場を拡張することにより、駐車場不足を解消し、来所者が安全かつ快適に施設を利用することができる環境を整備する。			主たる内容	駐車場造成工事等			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令							
		対象者	施設利用者	事業期間	平成30年度～平成30年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		・舗装工 1,657㎡ ・スロープ工 3箇所 ・侵入防止柵工 146.8m ・透水シート設置 1,657㎡ ・側溝清掃 38m ・駐車可能台数 57台		—	
成果		施設の駐車場整備により、来所者が安全かつ快適に施設を利用することができるようになった。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		整備進捗率（％）			—	—	100.0	—	—
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	30,726	0	合計	30,726,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	30,726,000円	
		一般財源	0	0	30,726	0			
	職員人件費②		0	0	386	0			
	総事業費（①+②）		0	0	31,112	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			生きがいセンター改修事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	7					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	経年劣化していた屋根葺材数百枚が台風の強風により剥離し施設敷地内外に飛散したため、経年劣化しても剥離する心配がない部材にて施工し直す。			主たる内容	補正内容 既設部材（アスファルトシングル）の撤去及びアスファルトシート防水の施工並びにそれに伴う諸経費一式			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
_____		_____		_____		・屋上防水改修工事			
成果									
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	0	3,750	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	1,130			
		一般財源	0	0	0	2,620			
	職員人件費 ②		0	0	0	310			
	総事業費（①+②）		0	0	0	4,060			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							